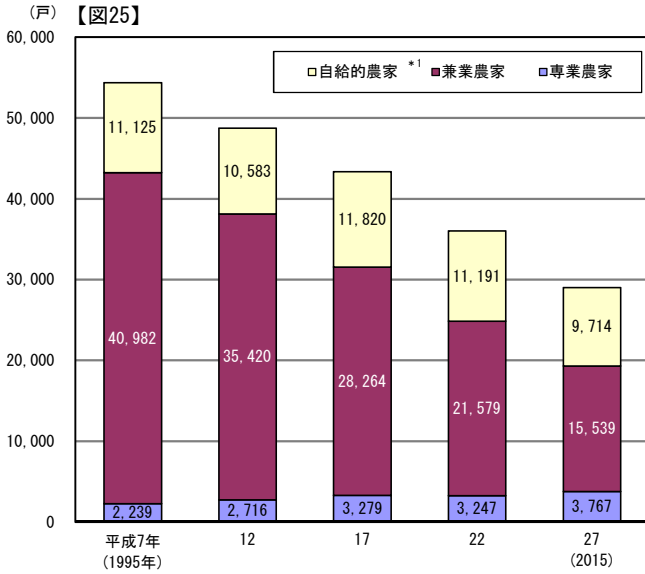


農林水産業

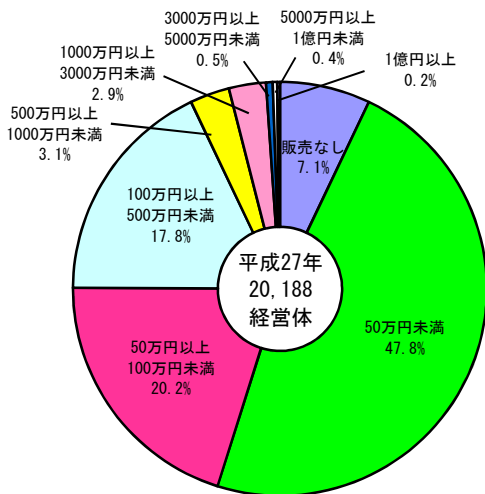
■ 農家数の推移



*1 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家
「農林業センサス」 農林水産省 (各年2月1日現在)

■ 農産物販売金額規模別農業経営体数

【図27】



平成27年 20,188 経営体
「2015年農林業センサス」 農林水産省

くらしの数字

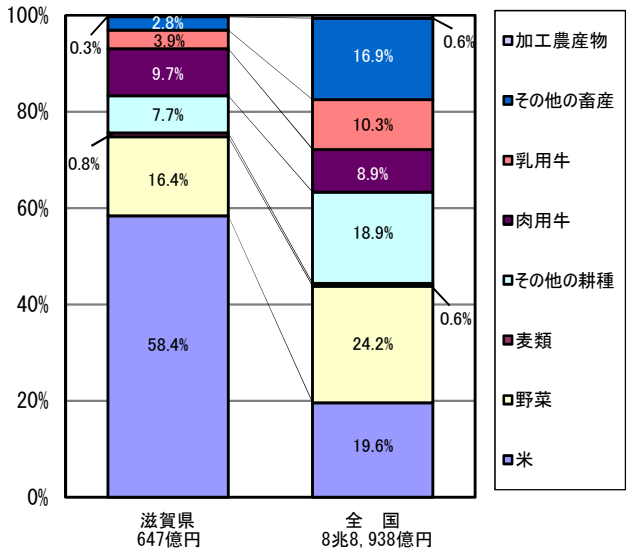
農業用機械所有台数 (100農業経営体当たり)

動力田植機 103.6台 全国18位
コンバイン 108.6台 全国8位

「2015年農林業センサス」 農林水産省

■ 農業産出額の品目別構成比

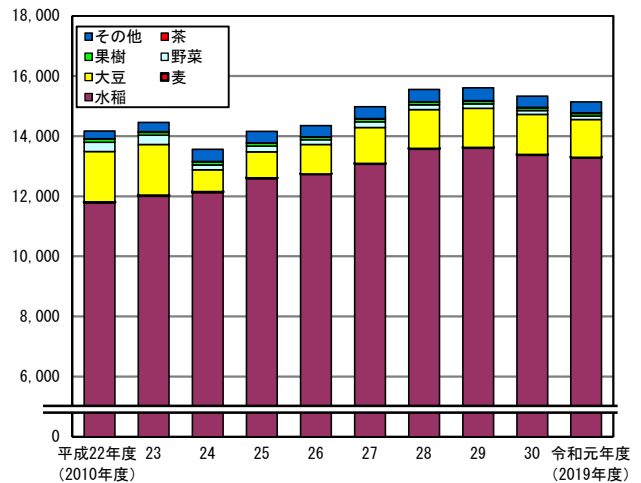
【図26】



「生産農業所得統計」<第1報> 農林水産省 (令和元年)

■ 環境こだわり農産物

(ha) 【図28】 環境こだわり農産物*2の栽培面積の推移



*2 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境への影響を小さくして生産した農産物

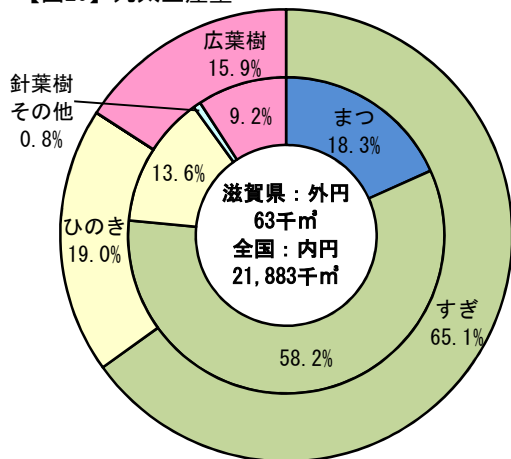
※1 「面積」とは、生産計画認定面積を指します。

食のブランド推進課

- ・平成27年2月1日現在の農家数は29,020戸で5年前より6,997戸減少した。(図25)
- ・令和元年の農業産出額は647億円で、このうち米の割合が58.4%を占めている。米の割合は、全国の約3倍である。(図26)
- ・農業経営体のうち、農産物販売金額が50万円未満(販売なしを含む)の経営体は全体の54.9%である。(図27)
- ・環境こだわり農産物の栽培面積は、令和元年度には15,135.5haとなった。(図28)

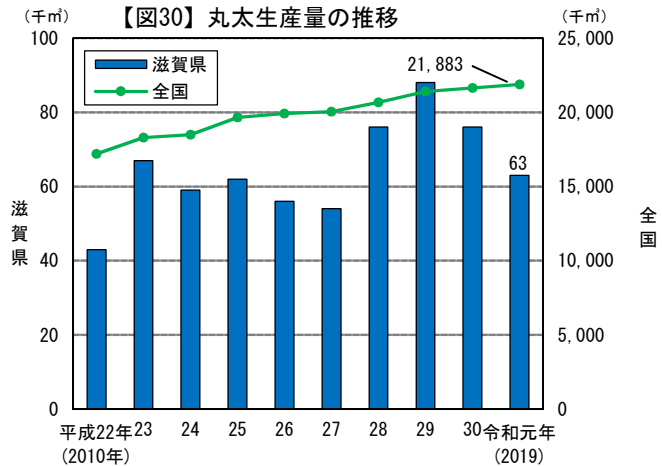
丸太生産量

【図29】丸太生産量



「木材統計調査」農林水産省（令和元年）

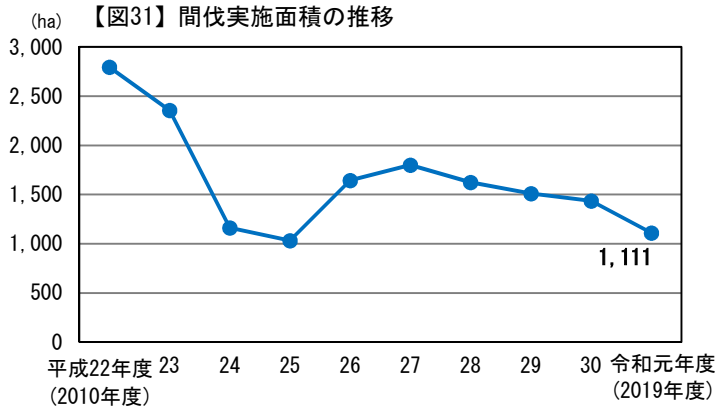
【図30】丸太生産量の推移



「木材統計調査」農林水産省

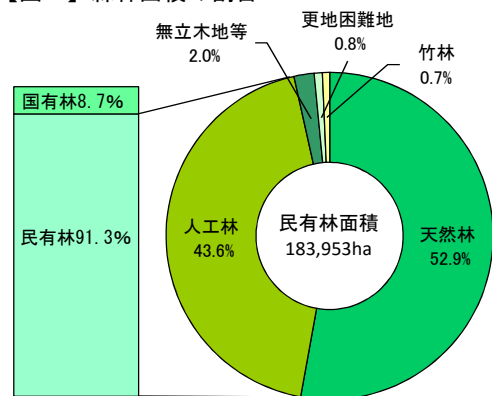
森林面積

【図31】間伐実施面積の推移



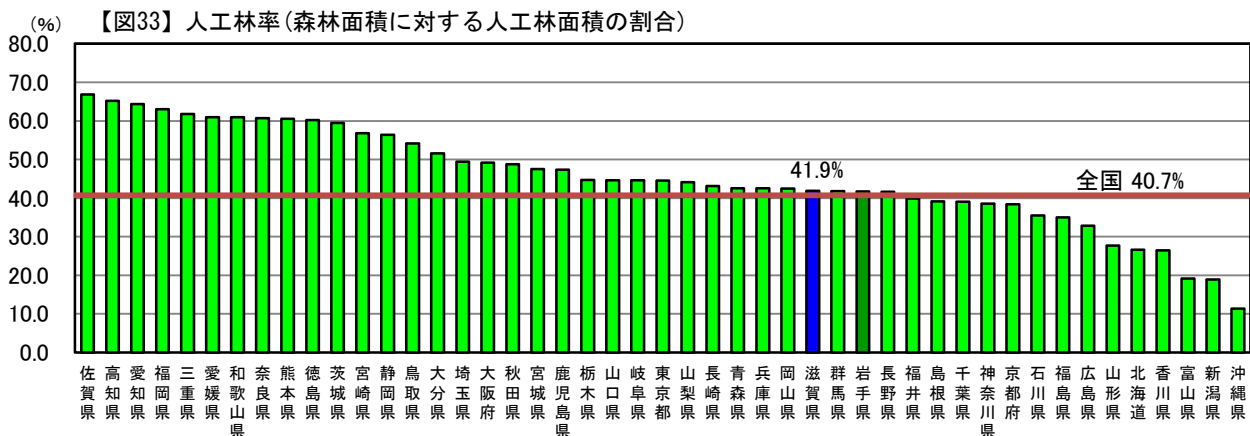
「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課

【図32】森林面積の割合



「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課（令和元年度）

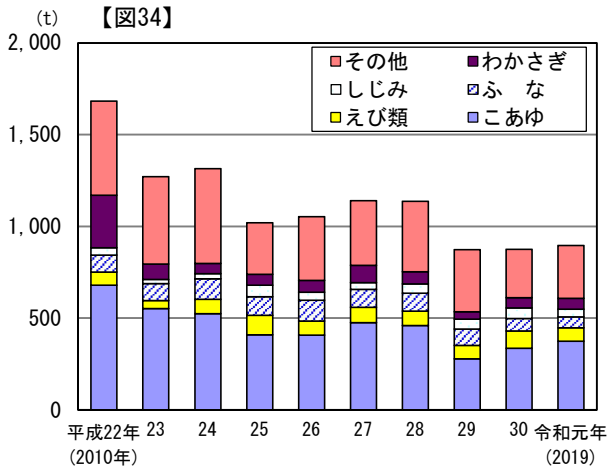
【図33】人工林率(森林面積に対する人工林面積の割合)



林野庁（平成29年3月31日現在）

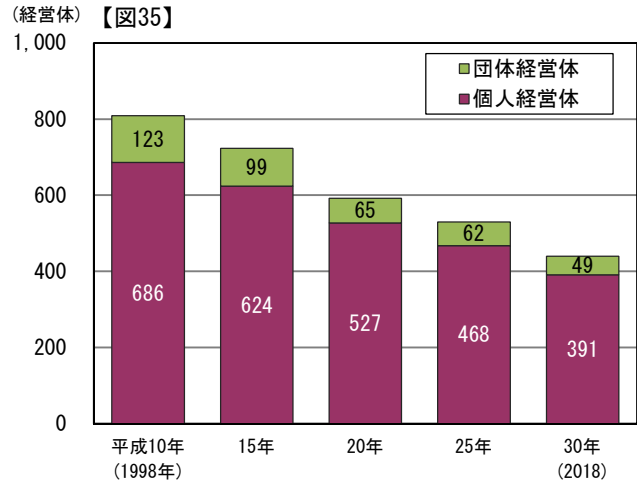
- ・丸太生産量のうち、すぎが65.1%を占めている。（図29）
- ・丸太生産量の推移をみると、2年連続で減少した。（図30）
- ・県内の森林のうち91.3%が民有林で、そのうち52.9%が天然林である。（図32）
- ・平成29年3月31日現在の人工林率（森林面積に対する人工林面積の割合）は41.9%で、全国30位である。（図33）

琵琶湖の漁獲量の推移（魚種別）



「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省

琵琶湖の漁業経営体数の推移

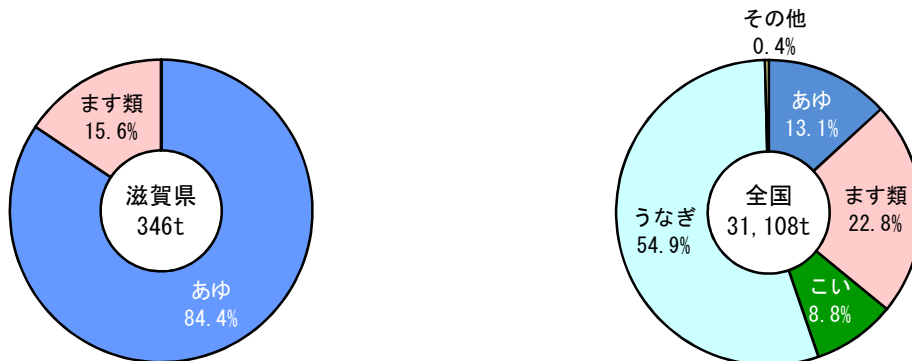


※2 団体経営体および年間湖上作業従事日数30日以上の個人経営体に関する数値。

「漁業センサス」 農林水産省

内水面養殖業の収穫量

【図36】



※3 琵琶湖養殖を含む。

※4 秘匿数（統計法の秘密保護に基づく）は含みません。

※5 滋賀県の「ます類」には、にじますを含みません。

「漁業・養殖業生産統計」 農林水産省（令和元年）

くらしの数字

就業者1人当たり農業産出額（販売農家）（平成30年度）
全国41位 257.8万円

土地生産性（耕地面積1ha当たり）（平成30年度）
全国44位 124.0万円

「統計でみる都道府県のすがた2021」 総務省統計局

・令和元年の琵琶湖での漁獲量は、896tで前年より2.3%増加した。魚種別にみると、こあゆ375t(41.9%)、えび類73t(8.1%)、ふな60t(6.7%)、しじみ41t(4.6%)、わかさぎ60t(6.7%)などとなっている。(図34)

・平成30年の琵琶湖漁業経営体の総数は440で、このうち団体経営体が49、個人経営体は391となっており、9割近くを個人経営体が占めている。(図35)

・令和元年の滋賀県の内水面養殖業(琵琶湖養殖を含む)の収穫量は346tであった。収穫量のうちあゆが292tで84.4%を占める。(図36)